

CLOSE-UP INTERVIEW

クローズアップ インタビュー



旭日双光章受章者 **神谷 宏氏** (78歳)



特に妻には、
現役時代にいろ
いろと無理をさ
せてしまったこ
とが多かった分、
感謝も大きかつ

うれしさもありますが、感謝の
思いが強いです。市民の皆さんの
ご支援・ご協力、家族の支えがあ
ったからこそ、旭日双光章を受章
できたと思っています。

受章の感想

主な経歴

平成 3年4月～平成23年4月 高浜市議会議員
平成10年5月～平成11年4月 高浜市議会副議長
平成16年5月～平成17年5月 高浜市議会議長

平成29年春の叙勲の発表があり、神谷宏さん(春日町在住)が、旭日双光章を受章されました。受章の喜びなどについてお聞きしました。

た。私だけの功績でなく、かかわ
ってくれた皆さんといっしょに受
賞したという気持ちです。

市議会議員として

私は議員を5期約20年間務めさ
せていただきました。当選してか
らは瓦製造業にかかわってきた経
験を活かし、三州瓦など地場産業
の発展に努めました。また、道路
の改良整備にも力を入れて取り組
み、市街地における交通の緩和や
広域交通の円滑化を図るよう各所
に働きかけましたね。

活動のなかで大切にしてきたこ
とは、現場を大切にするというこ
とです。高浜市の課題は一体何な
のかを確認するにはやはり、市
民の皆さんのもとに行き、直接話
を聞くことです。何回も足しげく
現場に通うことにより皆さんから
の信頼を得ることができたと感じ
ています。

「宏さんがいてくれてよかった」
といった声を支援者からかけてい
ただいたときは、とてもうれしか
ったし、やってきたことが報われ
たと感じましたね。

議員を引退してから

議員引退後も高浜について考え
ることは多いです。例えば、昔は
福祉のまちをめざした時代があり
ましたが、現在は市外からの移住
者も多く、人口も増加傾向にあり
ます。福祉はもちろんのことで
すが、夢のあるまち・住みたくなる
ようなまちにと願っていますし、
機会があれば私もまちづくり活動
に興味のある若い世代にいろいろ
伝えていきたいと思っています。

若い人に向けて

夢を持ってもらいたい。私が若
いころは「失敗を恐れないで、な
んでも挑戦できる」と思いながら
活動していました。

高浜市がより住みやすくなるよ
うに未来を支えてくれる若者に期
待しています。

